

平成26年度地域づくり人養成講座を終えて

研究員 平岡 美野里

グループワークの様子



開催しています。今年度は、「地域資源を活用した地域活性化」をテーマに、6月から11月にかけて全6回の講座を実施しました。

見て、聞いて、食べて、学ぶ

第1回の講座(座学)では、まちづくりの基本やワークショップの手法、地域資源の活用事例として上島町弓削での取り組みについて学びました。第2回から第5回の講座では、実際に西条市中興、松山市中島、八幡浜市日土、西予市城川に足を運び、地域の現状に即した課題解決の道筋を学びました。

第2回で訪問した「石鎚ふれあいの里」は、廃校となった小学校を活用した宿泊施設で、草木染教室や竹食器作りといった体験プログラムも数多く準備し、訪れる人に地域自然の魅力を感じてもらおう仕掛けづくりに力を入れていました。



第2回 石鎚ふれあいの里

第3回は中島で一泊二日の研修を実施しました。柑橘栽培を行いながら、新規移住者のための住居の確保や地域のネットワークづくりに取り組んでいる「農音」の活動を視察しました。泊まりがけということもあり合宿のような雰囲気も合わさって、受講生同士、さらには講師の方々との交流も一気に深まった回となりました。

第4回は旧日土東小学校を講座会場とし、「ふれあいの山里ひがし」を中心に住

民一体となつて地域活性化に取り組み様子を見察しました。第6回の受講生スピーチでは、同地区での講座が特に印象的だったという声が多く聞かれ、手づくりの美味しいお昼ご飯、地元の方々との交流など、「あた



第3回 松山市中島

たかいおもてなし」に触れたことが受講生の記憶により強く残ったようでした。

第5回は、ジオパーク認定から約1年というタイミングで西予市城川町を訪問しました。ジオという言葉自体知らない受講生もいる中で、「多くの人が親しまれるジオパークを目指して、住民が主体となった活動を継続していくためにはどうしたらよいか」という難しい課題について議論しました。

そして、第6回では受講生一人一人が自身の地域づくりに対する思い、講座を通じて学んだことを発表し、お互いに見識を深め、思いを共有しました。全6回を通じてご指導いただいた前田先生からも、受講生一人一人に対し今後の励みになるあたたかい言葉をいただきました。

第4回 八幡浜市日土



今年度の現地研修の際、受講生の一人から「来年度の講座はぜひうちの地区に来てください」と言われました。実は、今年度の第5回講座で講師を務めていただいた田さん、25年度の受講生です。講座の受講生が将来講師としてこの講座に帰ってくる。それは、色々な課題に直面しながらも、汗をかき、ステップアップ

来年度に向けて

受講生の皆さんは、自分の住んでいる地域を元気にしたいとの思いから参加されているだけに、好奇心が旺盛で、感受性も想像力も豊かな方が多かったように思います。その個性が講座全体の雰囲気盛り上げ、活発な議論を生み、結果として生き生きとした学びの場をつくってくれたのだと改めて感じています。受講生の皆さん、講師の皆さん、お世話になった地域の皆さん、この場を借りてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

受講生は個性派ぞろい!?

開講式&第1回(6月21日)

「地域資源を活かす 弓削の島ツーリズム」

講師 ゆげ女性塾 代表 村上 律子氏

第2回(7月25日)

「自然を活用した地域活性化～地域自然の魅力を知ろう～」

講師 石鎚ふれあいの里 代表 山本 貴仁氏

第3回(8月30日・31日)

「農業と音楽で地域をつなぐ～地域活性化への取り組み～」

講師 NPO 農音 代表理事 田中 佑樹氏

第4回(9月27日)

「地域資源活用による集落活性化～地域が輝く底力～」

講師 ふれあいの山里ひがし 事務局長 二宮 嘉彦氏

第5回(10月24日)

「四国西予ジオパークと地域づくり～ジオパークを活かした新時代の地域づくり～」

講師 四国西予ジオパーク推進協議会事務局 薛田 尚典氏

第6回&閉講式(11月29日)

自主研究発表会

全講座の指導講師 (有) 邑都計画研究所 代表取締役 前田 眞氏



第5回 西予市城川

プし、活動を続けているという事実には他ならないと思います。「ぜひうちに!!」そんな力強い声から受講生から出たことにうれしさを覚え、来年度のカリキュラ



閉講式

ムが決まるのはもう少し先になりますが、「参加が待ち遠しい」「次回も楽しみ」と言ってもらえるような魅力ある講座を目指したいと思います。もしかしら、この記事を読んでくださっている皆さんの地域にお邪魔するかもしれません。その時はどうぞよろしく願います!!

研究員報告
②

地域の魅力再発見！近代化遺産を地域の誇りに

「近代化遺産まち歩きツアーを実施して」

研究員 鈴木 伸弥

受託調査から普及版作成、
そしてガイドツアー実施へ

（公財）えひめ地域政策研究センター（以下、センター）では、過去2度の愛媛の近代化遺産に関わる調査の経験から、近代化遺産を重要な地域資源の一つであると位置づけ、その普及啓発に取り組んでいます。地域活性化のために地域の資源が見直されている今、近代化遺産の価値や魅力を情報発信することは、文化財保護の観点だけでなく、地域の皆さんの誇りや愛着につながり、地域づくりに役立つものと考えています。ちなみに近代化遺産とは、幕末から第二次世界大戦終了時までの間に建築され、日本の近代化に貢献した産業・交通・土木・生活文化等に関わる建造物等のことです。

今年度は、25年度に作成した「えひめの近代化遺産」（普及版）を活用し、センターの近代化遺産活用アドバイザーである岡崎直司氏のガイドで、一般県民の皆様を対象にまち歩きツアーを実施しました。ここではその様子をご紹介します。



松山東雲中学・高等学校正門

松山編
（平成26年11月4日）

松山編は、道後温泉本館（又新殿見学）⇨章光堂⇨松山氣象台⇨聖アンデレ教会⇨愛媛県教育会館⇨松山東雲中学・高等学校正門⇨萬翠荘⇨愛媛県庁を22名の参加者と巡りました。章光堂や東雲学園正門では日頃、非公開の部分を見学し、近代期の松山を感じることができました。

大洲編（平成26年12月1日）

大洲編は、少彦名神社⇨古学堂⇨肱川橋梁⇨旧大洲商業銀行本店⇨長浜大橋⇨旧長浜町役場⇨西村兵太郎銅像⇨榎セラリカNODAつるかめ喜多工場を24名の参加者とバスで巡りました。修復完了間近の少彦名神社、長浜大橋では開閉見学や機銃掃射跡探索、つるかめ喜多工場では日本で5か所のみ、中四国では唯一、稼働している木蠟工場を見学しました。

参加者の方からは「知っているようで知らなかった松山を勉強できた。」「普段見られ

ないところを見学できた。」「大洲長浜の木蠟工場の現場、長浜大橋が今も現役で、開いたときは感動した。」などの声がありました。

このように地域の皆さんがより身近な近代化遺産を見て、知って、触れて、感じることで愛着が生まれ、それが誇りになることが地域活性化のきっかけになるのではと感じています。今後もセンターの近代化遺産に関わる事業を楽しみにしていきましょう。



少彦名神社

※松山編・大洲編にて巡った近代化遺産の詳細は、舞たうん＜a href="#">SONA P.26、27、＜a href="#">SONA P.22、23に掲載されている岡崎直司氏の「MY TOWN うおつちんぐ」を参考にしてください。

「いよてつ」でめぐる

近代化遺産ツアー&トークサロン

研究員 中矢 具裕

「近代化遺産まち歩きツアー」の第三弾として、12月6日に伊予鉄道及びその沿線の近代化遺産をいよてつ郊外電車でめぐり、そのあと、近代化遺産である来良夢（旧伊予農業銀行郡中支店）にて近代化遺産の活用について話し合いました。

主な内容は、伊予鉄道の中尾部長さんと近代化えひめ歴史遺産総合調査にて主任調査員を務めた当センターの近代化遺産活用アドバイザー岡崎直司さんのガイドにより、伊予鉄道に関わる近代化遺産や来良夢（旧伊予農業銀行郡中支店）の内見学をした後、近代化遺産の活用について話し合い、よりよいまちづくりに役立ててもらおうものです。



煉瓦橋

検討委員会に関わっている門田眞一さん、前田眞さん、若松一心さん、地域おこし協力隊の新居田眞美さんが参加しました。伊予鉄道からは中尾部長や近代化遺産の専門的な意見をお聞きするために愛媛の近代化遺産調査に関わっていただいた建築士の花岡直樹さん、県外からは二村悟先生（工学院大学建築学部建築デザイン学科客員研究員）をお招きしました。また、センターの特別研究員である柏谷増男先生やセンター研究員も参加しました。

意見交換会（トークサロン）

昼食後、「近代化遺産の活用」について、センターの小池所長の司会で意見交換を行いました。まず、岡崎さんから伊予鉄道をはじめとする近代化遺産のロマンや物語の面白さ、他には代用できない文化的な価値についてお話があり、参加者のみなさんで近代化遺産について自由に意見交換を行いました。意見交換会では出た意見は、まず、この様な機会が地域の方々に近代

化遺産の存在と価値を知らしめる事が大事。

近代化遺産の価値が分らないと、真の活用はできない。
文化財として残すのか、リノベーションとして残すのか、地元の人達が立ち位置が異なる人々とも協議し、かつコーディネートを迎えストーリー作りにも配慮し、保存方法を慎重に決定する必要がある。

というものでした。

今後もセンターでは広くみなさんのご意見をお聞きしながら、近代化遺産の普及啓発、活用について考えていきたいと思っています。



トークサロンでの二村先生

※本ツアーで巡った伊予鉄道遺産の詳細は、舞たうんvol.24p24～25に掲載されている岡崎直司氏の「MYTOWNうつちんぐ」を参考にしてください。

参加者（28名）

一般県民のみなさんや松山市、伊予市のボランティアガイドの方々、来良夢の活用

行程

松山市駅発⇒いよ立花駅着⇒重松倉庫⇒石手川橋梁⇒煉瓦橋⇒石手川公園発⇒松前駅着（駅見学）⇒郡中駅⇒元伊予農業銀行郡中支店（来良夢）⇒昼食⇒トークサロン（意見交換会）